

令和元年度

---

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業  
助成事業

# 実施報告書

---

令和2年3月

東京都市長会／東京都町村会



## ■ 目 次 ■

I 事業概要	1
II 実施事業一覧	3
III 実施事業内容	5
資料編	
資料1 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金交付要綱	67
資料2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱	71
資料3 市町村共同事業助成金審査会委員名簿	73



## I 事業概要

### 1 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業について

本事業は、多摩・島しょ地域の市町村が計画的に実施する、市民が日常的にスポーツに親しみ、取り組むことを習慣として定着させ、健康増進を図ることを推進する事業を支援することにより、多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的に、次の事業に対し助成金を交付する事業である。

なお、本事業は、東京都市長会の政策提言「多摩のスポーツ振興をめざして（平成 23 年 2 月）」を受け、平成 24 年度より助成事業として制度化したもので、平成 27 年度及び平成 28 年度に一部内容を改変している。

助成期間	助成対象事業	助成
平成 24 年度から 平成 26 年度まで	次の事業種別のどれかに該当し、助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会会長が必要と認める事業とする。 ①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業 ②子どもの競技力の向上に資する事業 ③スポーツを通じた地域活性化等に資する事業	一市町村につき 年間 200 万円以内
平成 27 年度	次の事業種別のどれかに該当し、助成期間内において新規又はレベルアップして実施する事業のうち、市長会会長が必要と認める事業とする。 ①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業 ②子どもの競技力の向上に資する事業	一市町村につき 年間 150 万円以内
平成 28 年度から 令和 2 年度まで	次の事業種別のどれかに該当し、助成期間内において新規又はレベルアップして実施する事業のうち、市長会会長が必要と認める事業とする。 ①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業 ②子どもの競技力の向上に資する事業 ③障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業 ④運動習慣の定着に資する事業	一市町村につき ①から③のまでの合計で年間 150 万円以内 ④は年間 50 万円以内

## 2 市町村共同事業助成金審査会

本助成金の交付にあたっては、市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、その可否を決定することとなっており、次のとおり実施した。

### (1) 実施日時

平成31年4月12日（金）午前10時～12時

### (2) 申請・審査件数

市町村数：31、事業数：65件

### (3) 審査結果

適正事業数65件、不適正事業数0件

## 3 実施市町村数及び実施事業数

市町村数：31、事業数：65件

事業区分	新規	レバルアップ
① 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業	8件	12件
② 子どもの競技力の向上に資する事業	13件	12件
③ 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業	8件	5件
④ 運動習慣の定着に資する事業	4件	3件
実施事業合計	65件	

## II 実施事業一覧

市町村名	事業名称	掲載ページ
八王子市	ジュニア育成事業バスケットボール教室	5
	ジュニア育成事業コア（体幹）トレーニング&走り方教室	
	ジュニア育成事業バドミントン教室	6
	ジュニア育成事業サッカー教室	
立川市	ジュニア体力及び競技力向上事業	7
	障害者スポーツ振興事業	8
	ラジオ体操・みんなの体操会	
武蔵野市	子どものスポーツ活動を支える指導者等の資質向上研修会	9
	障害者スポーツを支える人のためのユニバーサルスポーツ研修会	10
	ファミリースポーツフェア 2019 でのユニバーサルスポーツ体験ブース設置	11
	総合体育館個人利用枠「ユニバーサルスポーツ体験会」レベルアップ	12
三鷹市	乗馬による体力向上プログラムの構築	13
	バレーボールの競技力向上事業	14
	三鷹体操の普及促進事業	15
青梅市	スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム	16
	リズムトレーニングを取り込んだ運動能力向上事業	17
	国際パラスポーツ大会の観戦を通じた理解促進事業	18
昭島市	児童・生徒の総合的な体力向上を図る事業	19
調布市	パラスポーツ体験事業	20
町田市	「出張！サッカー&スポーツ栄養学」実施事業	21
	「出前！フットサルクリニック」実施事業	
小金井市	アシスタントティーチャー事業	22
	ストレッチ体操普及啓発事業	23
小平市	～運動が苦手な君が体育のヒーロー！？～	24
	スポーツをして・みて、運動が楽しくなるスポーツ教室！！	
	地域支援講座「車いすスポーツレクリエーション体験でバリアフリーの仲間づくり」	25
日野市	体を動かす（運動する）ことの楽しさ・心地よさ向上プロジェクト	28
	ロープジャンプで体力アップ	
東村山市	障害者スポーツ体験事業	29
国分寺市	祝 第36回国分寺まつり 史跡武蔵国分寺跡 秋のスポーツイベント	31
国立市	子どもの体力・運動能力向上事業	32
狛江市	スキルアップ水泳教室	33

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

市町村名	事業名称	掲載 ページ
東大和市	東大和市子供の体力向上推進事業	34
	東大和元気ゆうゆう体操普及推進事業	35
清瀬市	なでしこリーガーによる清瀬市サッカー教室	36
東久留米市	オリンピック種目をベースとした子どもの体力・運動能力向上事業	37
	指導員によるフィットネスウォーキング事業	38
武蔵村山市	令和元年度少年少女スポーツ大会「第36回少年少女サッカー大会」	39
	令和元年度少年少女スポーツ大会「第17回少年少女ドッジボール大会」	40
多摩市	ヴェルレンジャー ～一緒にスポーツ楽しみ隊！～ in 多摩	41
	障がい者スポーツ出張体験教室	43
羽村市	はじめようスポーツ！小・中学生「走り方教室」（初心者編）	44
	スポーツをしよう！小・中学生「走り方教室」（競技力向上編）	
	スポーツをしよう！小・中学生「フィジカルトレーニング（体幹）教室」（競技力向上編）	45
	はじめようスポーツ！障害者スポーツのススメ	46
	はじめようスポーツ！歩くことからはじめよう	47
あきる野市	小中学生バスケットボール教室	48
	障がい者スポーツ教室	49
西東京市	走って、投げて、蹴って、踊って♪	50
日の出町	ニュースポーツ「キンボール・スポーツ輪投げ」を体験しよう	51
檜原村	檜原村スポーツ教室	52
利島村	ジュニアサッカー育成事業	53
新島村	新島村野球教室	54
	新島村バレーボール教室	
神津島村	神津島村野球教室	55
	神津島村バレーボール教室	56
	神津島村サッカー教室	
御蔵島村	御蔵島村子どもスポーツ教室	57
	運動習慣の定着に資するためのスポーツ教室	58
八丈町	八丈島卓球連盟ジュニア育成合宿	59
	八丈島サッカー協会サッカークリニック	
	八丈島剣道会育成事業	60
	八丈島柔道会選手育成事業	61
	八丈島ジュニアバレーボール教室	
	野球連盟野球教室	62
小笠原村	バドミントン強化練習	63

### Ⅲ 実施事業内容

#### 八王子市

##### ジュニア育成事業バスケットボール教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年6月2日、9日、30日

事業概要 総合型地域スポーツクラブに委託し、地域におけるジュニアスポーツの普及と、ジュニア選手の発掘及び育成を推進することを目的とするバスケットボール教室を開催した。

【参加人数】82名（1回目35名、2回目32名、3回目15名）

【実施場所】八王子市富士森体育館



##### ジュニア育成事業コア（体幹）トレーニング&走り方教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年8月1日

事業概要 ミズノ（株）に委託し、八王子市内在住在学のサッカー、バスケットボール等の競技を日常的に行っているジュニアを対象にあらゆる競技に共通する体幹を鍛えるためのコア（体幹）トレーニング教室及び走り方教室を開催した。

【参加人数】56名

【実施場所】エスフォルタアリーナ八王子



### ジュニア育成事業バドミントン教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年5月19日

事業概要 NPO 法人法政クラブに委託し、八王子市内在住在学のクラブ等で日常的にバドミントンを行っているジュニアを対象にバドミントン教室を開催した。

【参加人数】38名

【実施場所】八王子市富士森体育館



### ジュニア育成事業サッカー教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年11月30日、12月7日、14日

事業概要 本市を拠点に活動する東京都社会人サッカーリーグ1部チームに委託し、八王子市内在住在学の部活・クラブなどで日常的にサッカーを行っている小学生を対象にサッカー教室を開催した。

【参加人数】48名（1回目18名、2回目7名、3回目23名）

【実施場所】八王子市富士森体育館



## 立川市

### ジュニア体力及び競技力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月5日～令和2年1月5日

事業概要 立川市体育協会に委託し、体育協会加盟の競技団体の運営により、主にスポーツをしていない子どもたちを対象に、陸上競技、軟式野球を中心に、体力の向上を図るため、スポーツ教室を開催した。

軟式野球では、初心者が気軽に参加できるように、市内全域の小学校を会場とし開催した。競技団体と地区体育会が連携し、市内小学校へのチラシ配布をするなどして参加者を募り、参加者の増加につながった。

普段スポーツや運動をしていない子どもたちが参加し、実際にスポーツに触れることで、楽しさを体感する機会を作ることができた。

【実施種目】陸上・軟式野球・硬式野球・テニス（硬式）・ソフトテニス

【参加者数】1707人



### 障害者スポーツ振興事業

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年 11 月 10 日

事業概要 立川市体育協会に委託し、障害者スポーツ、ニュースポーツの振興を図るため、ポッチャの地区対抗試合を開催した。

立川市体育協会加盟の市内 12 地区体育会ごとに参加者を募り、全地区が参加した。

令和 2 年 2 月 16 日に開催される市町村ポッチャ大会の予選会を兼ねて行った。

継続して行っている事業であるが、各地区でポッチャに親しむ市民が増えており、競技会として白熱した試合が見られた。各地区でポッチャに親しむ市民が増えてきていることがうかがえた。

また、試合運営を経験している役員が増え、審判員の増加など大会運営のスキルアップを図ることができた。

【参加者】97 名

【会 場】立川市柴崎市民体育館



### ラジオ体操・みんなの体操会

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 令和元年 7 月 15 日～9 月 29 日

事業概要 子どもたちを含め広く市民を対象としたラジオ体操教室（ラジオ体操・みんなの体操会）を実施し、普及啓発を図るとともに、ラジオ体操の指導者を育成する講座（ラジオ体操講習会）を開催した。講師は、NHK テレビ・ラジオ体操指導者とアシスタントをお呼びした。

(1) ラジオ体操・みんなの体操会

① 【会 場】立川市柴崎市民体育館

【参加者】46 人

② 【会 場】立川市泉市民体育館

【参加者】94 人

(2) ラジオ体操講習会

【会 場】立川市泉市民体育館

【参加者】47 名



## 武蔵野市

### 子どものスポーツ活動を支える指導者等の資質向上研修会

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和2年1月25日

事業概要 子どものスポーツ指導に携わる指導者や保護者が抱えている不安や疑問に  
応える内容で、今後の地域での指導や日常生活の中で活せる正しい知識を身  
に着けることができた。

【日 時】令和2年1月25日（土）午前9時～午後4時

【場 所】武蔵野総合体育館<理論>大会議室、<実技>サブアリーナ

【参加者数】62名（応募者79名）

\*教員、学校部活動・体育協会加盟団体・少年野球連盟・民間ス  
ポーツクラブの指導者、スポーツ活動を行っている子どもの保護  
者など

【事業名】トップトレーナーが極意を伝授！

“子どものスポーツ活動を支える本物の知識”

【内 容】子ども達の心身の健全な発達と確かな競技力向上のために、指  
導者・保護者が必ずやらなければならない7つの「原則」①安定  
したフォーム（体幹トレーニング）②ケガの早期発見③ケガの予  
防（静的ストレッチ、アイシング）④体への負担を軽減させる  
（動的ストレッチ）⑤戦略的リカバリー（アクティブレスト、交  
代浴、食事）⑥睡眠の質の向上（自律訓練法、筋弛緩法）⑦メン  
タルについて、様々な種目に共通する理論と実技を学んだ。

【講 師】中野ジェームズ修一氏  
（PTI認定プロフェッショ  
ナルフィジカルトレーナー）

理論を学ぶ →



↑ 正しい動作の見本



↑ 実技体験

## 障害者スポーツを支える人のためのユニバーサルスポーツ研修会

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年12月～令和2年2月

事業概要 障害の種別ごとに、身体や動きの特性や配慮すべき事項などを学び、さらに、実際に各回ごとに障害当事者の方にもご協力を頂いてスポーツを体験しながら、実践を通して障害者スポーツを支えるための知識、技術を学んだ。併せて、障害当事者においては、運動することの楽しさに触れ、体育施設の見学や制度の紹介も行うことで、今後のスポーツ活動に繋がるきっかけづくりの場とした。また、初級・中級障がい者スポーツ指導員有資格者には、活動実績として認定を行った。

### 【日時・内容】

① 概論（座学のみ）＊精神、聴覚を含む

12月19日（木）午後7時～9時

② 知的（座学＋「障害者のためのスポーツ広場」の体験）

1月27日（月）午後1時～（座学）、2時～3時（体験）

③ 肢体（座学＋実技）

2月5日（水）午後1時～（座学）、2時～3時（実技）

※ 当初全5回の予定であったが、④2月27日（木）、⑤3月2日（月）は新型コロナウイルス感染症対応のため中止。

【場 所】 武蔵野総合体育館（座学）視聴覚室、（実技）メインアリーナ等

【参加者】 ①9名 ②17名 ③14名

【協力者】 ①実技なし ②18名 ③9名

↓ 理論を学んでから…



↑ 実技にチャレンジ！

## ファミリースポーツフェア 2019 でのユニバーサルスポーツ体験ブース設置

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 平成 31 年 4 月 29 日

事業概要 武蔵野市教育委員会及び武蔵野市スポーツ推進委員協議会の共催で毎年開催しているスポーツイベント「ファミリースポーツフェア」において、パラリンピック種目であるボッチャとブラインドマラソンを体験できるブースを設置した。障害の有無を問わず広く市民に対して障害者スポーツの理解促進、普及に取り組んだ。

### 1 ボッチャ体験

(一社)日本ボッチャ協会から派遣された講師によるボッチャ体験を実施した。障害者への実技指導の経験も多い講師による指導で、ルール説明など導入からゲームの体験まで、初めてボッチャに触れる参加者にとっても分かりやすい内容だった。

また、日本選手権の入賞経験もある宮原陸人選手をゲストに招き、ハイレベルなボッチャのデモンストレーションを行った。現役のパラ選手と触れ合うことのできる場となった。

### 2 ブラインドマラソン体験

特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会の協力により、ブラインドマラソン体験を行った。冒頭では、ブラインドマラソンに関する説明のほか、視覚障害者の様々な見え方など視覚障害に対する理解を深めた。その後、視覚障害者ランナー体験、伴走者体験をそれぞれ行った。



↑ トップレベルのボッチャに感動



↑ ブラインドマラソンに挑戦

【実施日】平成 31 年 4 月 29 日 (月・祝) 午前 10 時～午後 3 時 30 分

【場所】武蔵野総合体育館、武蔵野陸上競技場

【講師等】(一社)日本ボッチャ協会、宮原陸人選手、特定非営利活動法人  
日本ブラインドマラソン協会

【参加人数】1,716 名 (イベント全体の参加者)

## 総合体育館個人利用枠「ユニバーサルスポーツ体験会」レベルアップ

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 平成31年4月～令和2年1月

事業概要 障害のある方が「好きな時に気軽にスポーツができる環境づくり」を目指して「障害者のためのスポーツ広場」を実施。障害の種別に関係なく、“好きな時間に来て、自由に体を動かして、好きな時間に帰る”ことができる場として、学校や作業所・デイセンターが終わってから家族や友達、ガイドヘルパーの方と一緒に、あるいは、福祉作業所や放課後デイサービスのプログラムに取り入れるなど、さまざまに活用された。委託先スタッフのほか、スポーツ推進委員や市に登録しているスポーツボランティアの有志を補助者として配置し内容の充実を図るとともに、家族や作業所スタッフを含めた障害者を支える人材へ障害者スポーツへの理解促進につながった。令和2年4月以降は終了時間を1時間延長し、更なる事業の定着を図る。

【日時・参加者数】(全14回) 全て月曜日、午後1時～5時

4/8:19名、5/13:18名、5/27:27名、6/10:17名、  
6/24:35名、7/29:28名、9/9:23名、9/30:31名、  
10/7:25名、11/11:25名、11/18:18名、12/9:28名、  
1/6:15名、1/27:25名(合計:延べ334名)

※ 当初全16回の予定であったが、3/2は新型コロナウイルス感染症対応の為中止。3/23は実施が確定しないため助成対象から除く。

【場 所】武蔵野総合体育館メインアリーナ(半面)

【用 具】ボッチャ、キンボール、ドッチビー、風船バレー、マット運動、フラフープ、バドミントン、ミニテニス、卓球など

たくさんの用具を自由に使える↓



広いアリーナを半面使用↑

## 三鷹市

### 乗馬による体力向上プログラムの構築

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年7月9日、10月15日、10月30日、11月1日

事業概要 子どもたちが日常的に継続してからだを動かすことに親しみ、体力向上を図ることを目的に、小学校第3学年を対象として、総合的な学習の時間の中で、年4回の実技、講座を実施した。

実技は、回を追うごとにレベルアップしていくようプログラムを作成し、徐々に馬に親しめる一方で、技術的な困難さを感じながら、できたことへの達成感を強く持ってもらえるような狙いを持って、事業を展開した。

アンケート、気分調査シート（5段階評価）、作文、絵を通じて、子どもたちの心身の変化を捉えた。

アンケートを通じて、自分自身のからだを客観的に観察する姿が見られるとともに、からだを動かすことへの楽しさも感じてもらったようだ。

【参加者数】100人

【場 所】東三鷹学園第一小学校



## バレーボールの競技力向上事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年 11 月 13 日、20 日、12 月 7 日

事業概要 市内にある小学生バレーボールクラブ「みたかウェーブ」とバレーボール経験のある子どもを対象に実施した。

世界選手権やワールドカップで活躍された鈴木洋美氏に教室のコーディネーターとカリキュラム作成を依頼し、競技力向上がより効率的に行われるように企画運営を行った。

講師には、日立リヴァーレ監督の多治見麻子氏、元バレーボールオリンピックの狩野舞子氏、川北美雪氏、櫻井由香氏、元全日本選手権等で活躍した、鈴木洋美氏、田中姿子氏、宮脇智恵氏、鈴木裕子氏らを招き、子どもたちにとって、夢のある事業になるとともに、講師が変わってもカリキュラムがあることで、分かりやすい事業となった。

また、本事業に協力してくれたみたかウェーブは、2月に開催された第38回ミカサ杯教育大会東京都大会において、3位という好成績を収めた。



### 三鷹体操の普及促進事業

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 平成31年4月～令和2年2月

事業概要 三鷹市のオリジナル体操である「三鷹体操」の普及啓発をするとともに、老朽化した音源データのリニューアルを平行して進めた。

三鷹市主催のスポーツイベントやスポーツ推進委員の主催するイベント、地域スポーツクラブの主催するイベントに加えて、三鷹市がパラスポーツ普及啓発のために行っている教室でも三鷹体操を取り入れ、三鷹市民に三鷹体操をPRすることをしてきた。

それと同時に、約30年の経年劣化による音源等データを複製、またリニューアルし、一層市民に親しみを持ってもらえるような体操にするため、次年度も取り組んでいく。



## 青梅市

### スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月12日(日)、9月8日(日)、9月29日(日)  
※7月28日(日)、10月14日(月・祝)は雨による増水のため中止

事業概要 青梅市の地域の魅力である自然の中で行うスポーツ「カヌー」を紹介し、親子で楽しみながら運動に取り組める機会を提供した。

参加者の多くが未経験者であるものの、パドルの持ち方、カヌーへの乗り方、漕ぎ方などについて、青梅市カヌー協会の講師から丁寧な指導を受けることにより、短い時間でも上達を実感できる機会となった。

今回のプログラムでは、複数の参加者が、9月8日(日)午後で開催されたカヌーの「市民体育大会」に出場して競技としてのカヌーを体験した。

また、9月29日(日)に開催された「青梅市長杯カヌースラローム競技大会」の観戦ツアーでは、カヌー競技の解説を聞きながら、オリンピック強化指定選手を含む国内上位選手の競技を間近に見ることで、カヌーへの興味を更に深める機会となった。

【参加者数】73人

【実施場所】釜の淵公園内の多摩川、東原公園水泳場(流水プール)、御岳渓谷競技会場



## リズムトレーニングを取り込んだ運動能力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年6月15日・22日、7月20日、8月7日・11日（2回）・31日、  
9月21日、10月14日、12月7日の10回実施  
※天候不良等での中止2回を含まず

事業概要 専門トレーナーを派遣し、子どもの体力・運動能力向上を目的としたリズムトレーニングの普及を図った。

リズムトレーニングは未就学児からトップアスリートまで、導入が拡大しており、楽しみながら体と脳を鍛えられ、技術向上効果やけがをしにくい体づくり、集中できる脳づくりといった効果が期待できる。

2019年度は、中学校の教職員や部活動顧問およびサッカーや野球などのジュニアスポーツクラブ等を対象に実施した。

年齢を問わない内容のため、1回の実施で小学校低学年からコーチ、保護者まで同時に参加することが出来た。

アンケート結果では、「運動能力向上に効果があると実感した」という回答が指導者、選手含めて90%を占めており、リズムトレーニング普及のための周知を行うことが出来た。

【総参加人数】349人

【実施場所】友田小学校体育館、吹上小学校校庭 他



## 国際パラスポーツ大会の観戦を通じた理解促進事業

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年8月30日～10月18日

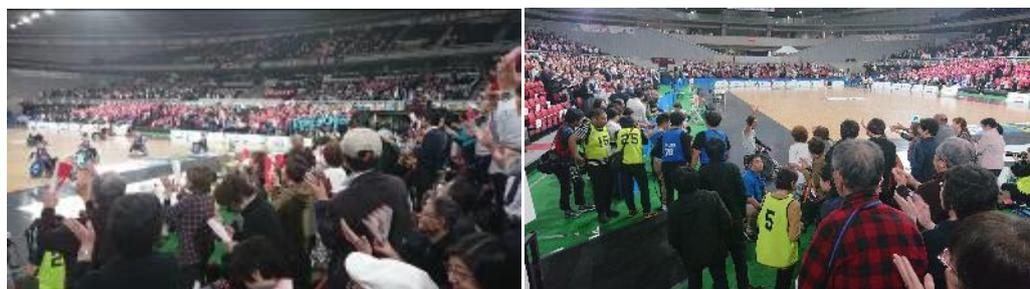
事業概要 東京2020大会に向けて、子どもから大人までパラスポーツの応援を通じてパラスポーツやパラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、理解を促進することを目的として、東京で開催される車いすバスケットボールおよび車いすラグビーの国際大会の機会に観戦会を実施した。

- ① 車いすバスケットボールワールドチャレンジカップ2019  
男子日本代表 VS オーストラリア代表  
令和元年8月30日（金）  
【会 場】武蔵野の森総合スポーツプラザ  
【参加人数】194人（市内小学生170人 教職員等24人）
  
- ② 車いすラグビーワールドチャレンジ2019  
男子日本代表 VS イギリス代表  
令和元年10月18日（金）  
【会 場】東京体育館  
【参加人数】30人（公募市民等）

①の様子（左 競技体験 観戦の様子）



②の様子（左 応援の様子 試合後の選手とのいれあいの様子）



## 昭島市

### 児童・生徒の総合的な体力向上を図る事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成31年4月1日～令和2年1月31日

事業概要 各校では、学校と家庭が連携して、「元気アップガイドブック」を活用しながら児童・生徒の生活習慣と運動習慣の改善を図るための方法を考え、各家庭や学校で実践してきた。

生活習慣については、特に「食事」と「睡眠」という視点から、どのようにすればより健康的な生活を送れるかということを児童・生徒に考えさせ、各学校で学期毎に1～2回程度振り返りを行って改善につなげた。

運動習慣については、各校で体力テストの結果を踏まえ、点数の低かった種目について来年度の目標と指導内容を決めた。また、児童・生徒が体力テストの結果を「元気アップガイドブック」に転記し、その結果を基に重点的に行うトレーニングを決めて実践をした。

また、地域の人材を活用して、週1回程度、放課後に市内の学校3校において「元気アップガイドブック」に載っている運動について児童・生徒に指導をしてもらった。その際、運動を行うときのポイントや家庭でもできる簡単な運動についても指導をしてもらった。各校の指導人数は3人～4人、1回あたりの指導時間は平均2時間、指導回数は11回～22回で、参加児童・生徒数は延べ120人であった。



## 調布市

### パラスポーツ体験事業

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年12月8日

#### 事業概要 【事業目的】

東京2020パラリンピック競技大会に向けて機運醸成を図ると共に、プレーを見るだけでなく、用具を見て、触り、実際に競技を体験してもらうことで、市民にパラスポーツの難しさや面白さを体感し、より身近に感じてもらうことを目的として実施。

大会において競技が実施される、武蔵野の森総合スポーツプラザ・サブアリーナを開催場所とし、パラアスリートとの交流の機会を設け、大会種目をはじめとする障害者スポーツ等を紹介、体験してもらう。

#### 【実施内容】

当日は車いすバスケットボール、ボッチャ、5人制サッカー（ブラインドサッカー）、ふうせんバレーボールの体験ブースに加え、義足体験コーナーやパラアート展示を行い、子どもから高齢の方まで、障害の有無に関わらず169名に体験をしてもらった。各競技の体験については、東京都障害者スポーツ協会や各競技団体と連携、また車いすバスケットボールの元パラリンピアンである三宅克己氏にも協力をいただき、各競技のルールや基礎、楽しさを感じ取れるようにした。

平成30年度から対象者を障害の有無に関わらず広く募集し、皆で楽しめる体験会として実施しているが、令和元年度は東京2020パラリンピック競技大会の種目である5人制サッカーを新たに体験競技として取り入れ、また障害理解の促進のため義足体験コーナーやパラアート展示等スポーツ分野以外とも連携して実施した。

参加者からは「パラアスリートの素晴らしさを理解できた、義足体験も貴重な経験となった」「大人にとっても子どもにとっても障害理解を深める良い機会だった」などの意見をもらい、障害者スポーツの振興と障害理解の促進につなげることができた。



【実施会場】武蔵野の森総合スポーツプラザサブアリーナ

【参加者】169名



## 町田市

### 「出張！サッカー&スポーツ栄養学」実施事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月1日～令和2年1月31日

事業概要 幼少期からスポーツに親しむ機会を確保することにより、スポーツで体を動かす習慣をつけてスポーツの楽しさを知ってもらいつつ、向上心を植え付けてレベルアップを図ることを目的に出前サッカー教室とスポーツ栄養学講座を実施した。

#### 【出前サッカー教室】

指導者不足の現状を踏まえ、市内の小学校、幼稚園、保育園、学童保育等を対象として、元Jリーグ選手や地域スポーツクラブのスタッフを派遣し、サッカーの出前教室を開催。



#### 【スポーツ栄養学講座】

食育の観点から、高い目標に向かって市内の若きアスリートとその保護者を対象に、アスリートにとっての食事の重要性と正しい知識を習得する機を設け、総合的な体力・運動能力の向上と体づくりを目指した。



### 「出前！フットサルクリニック」実施事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月1日～令和2年1月31日

事業概要 幼少期からスポーツに親しむ機会を確保することにより、日頃からスポーツで体を動かす習慣をつけてスポーツの楽しさを知ってもらいつつ、向上心を植え付け、継続してスポーツを行う姿勢を持つことを目的として、出前フットサルクリニックを実施した。

#### 【出前フットサルクリニック教室】

指導者不足の現状を踏まえ、市内の小学校、幼稚園、保育園、学童保育等を対象として、現役のFリーグ選手が派遣され、レベルに応じた内容のクリニックを実施した。また、現役のプロ選手による指導で、夢や憧れを抱き、より運動継続への意識とモチベーションを高めることができた。



## 小金井市

### アシスタントティーチャー事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月26日～令和2年2月28日

事業概要 こどもの体力・運動能力を向上させるための直接的、効果的な方法の鍵は、小学校体育授業の活性化にあると考え、体育授業の指導体制の強化及び充実を目指し、実施する。

体育教師を目指す大学生及び大学院生等がアシスタントティーチャーとして、小学校（年間2校）全学年を対象とした1校約420時間前後の体育授業、運動会及びプール指導などの体育活動について、サポートを行った。

派遣にあたっては地域スポーツクラブを中心として派遣先の小学校、派遣元となる大学と連携した。

【派遣アシスタントティーチャー】15人

【派遣校】小金井市立本町小学校 参加人数 531人

小金井市立緑小学校 参加人数 661人



## ストレッチ体操普及啓発事業

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 令和元年5月28日～12月27日

事業概要 市民の高齢化が進む中で、健康で活気ある生活を維持する上で、中年期、青年期からの健康志向、運動習慣を促すことが重要である。このことより、誰でもできるこちよい動きを通して体のバランスを整え、脳を活性化させるフェルデンクライスメソッド（フェルデンクライス氏が考案した体を動かす方法）を紹介し、動きの指導を行った。（今年度3回実施）

- |     |            |           |      |        |
|-----|------------|-----------|------|--------|
| 1回目 | 令和元年6月15日  | 小金井市第二中学校 | 小体育室 | 参加者23人 |
| 2回目 | 令和元年10月5日  | 小金井市総合体育館 | 会議室  | 参加者32人 |
| 3回目 | 令和元年10月14日 | 小金井市総合体育館 | 会議室  | 参加者27人 |



## 小平市

～運動が苦手な君が体育のヒーロー！？～

スポーツをして・みて、運動が楽しくなるスポーツ教室！！

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年7月28日、8月3日、8月31日、9月8日

事業概要 小平市内在住・在学の児童を対象に、走る・投げる・蹴るなどの運動の基礎を学ぶスポーツ教室と、見るスポーツに親んでもらうためのスポーツ観戦をセットにした教室を開催した。

スポーツ教室は市内の事業者である株式会社ジャクパから講師を招き、運動が苦手な児童も保護者と一緒に身体を動かすことによって、楽しそうに参加していた。スポーツ観戦ではスポーツ教室参加者からスポーツ観戦未経験者を優先で抽選を行い、パラリンピック競技である車いすバスケットボールの国際強化試合を観戦した。白熱した試合に参加者も夢中になり、観戦することを楽しんでいるようであった。

### 1 運動をして楽しむスポーツ教室

【日 時】令和元年7月28日（日）、8月3日（土）、9月8日（日）

午前9時～10時30分の回及び午前11時～午後0時30分の回

【場 所】株式会社ジャクパ本館体育館

【参 加 者】児童及びその保護者 63組 126人



### 2 運動を見て楽しむスポーツ観戦

【日 時】令和元年8月31日（土） 午後2時～午後7時

【場 所】武蔵野の森総合スポーツプラザ

【観戦競技】車いすバスケットボール男子日本代表戦（国際強化試合）

【参 加 者】スポーツ教室参加者より抽選で 44組 88人



地域支援講座「車いすスポーツレクリエーション体験でバリアフリーの仲間づくり」

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年 10月 17日（木）～12月 12日（木）（全8回）

事業概要 車いすでもできる様々なスポーツを実際に体験することで、普段の生活の難しさや配慮しなければならない点に気づき、新たな視点から障がい者への理解を深め、相互に尊重し、理解し合うきっかけづくりを提供した。

定員 20 人、受講者 20 人、修了（全8回の内半分以上出席）16 人

※受講者の中で 1 人聴覚障がいの方がいたため、手話通訳者 2 人に通訳を依頼した。

第1回 10月 17日（木）「車いすに乗って体験してみよう①」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 15 人

【実施内容】スポーツ用車いすの操作方法を学んだ。

第2回 10月 24日（木）「車いすに乗って体験してみよう②、障がい者支援の現状、障がい者スポーツの取組について知ろう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 10 人

【実施内容】前半は前回に引き続きスポーツ用車いすの体験、後半はプロジェクターを利用して、東京都多摩障害者スポーツセンターが行っている障がい者支援について学んだ。

第3回 11月 7日（木）「ドッチビーを体験しよう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 13 人

【実施内容】ドッチビーを利用したスポーツ体験を実施した。



第4回 11月14日(木)「卓球バレーを体験しよう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 14人

【実施内容】前半は視覚障がい者との接し方について学んだ。  
後半は卓球バレーのスポーツ体験を実施した。

第5回 11月21日(木)「手のひら健康バレーを体験しよう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 13人

【実施内容】前半は知的障がい者との接し方について学んだ。  
後半は手のひら健康バレーの体験を実施した。

第6回 11月28日(木)「クップを体験しよう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 8人

【実施内容】クップの体験を実施した。



第7回 12月5日(木)「小平福祉園を訪問しスポーツで交流しよう」

【実施場所】小平福祉園(小平市花小金井8-1-10)

【参加人数】受講者 15人

【実施内容】小平福祉園の入所者と通所者の方々と、ボッチャでスポーツ  
交流を実施した。



第8回 12月12日(木)「車いすバスケットボールを体験しよう」

【実施場所】中央公民館 ホール

【参加人数】受講者 17人

【実施内容】車いすバスケットボールの体験を実施した。



まとめ

車いすや、誰でも参加できる様々なスポーツの体験を通し、障がいのある方への配慮しなければならない点などに気づくことができた。受講者からは、「車いす利用者が困っているときに、躊躇せずに声をかけられるようになった。」という話や、「スポーツのルールを工夫することで障がいのある方と一緒に楽しむことができることがわかった。」という話が聞けた。小平福祉園で今後もスポーツ交流をしたいという受講者もいた。

## 日野市

### 体を動かす（運動する）ことの楽しさ・心地よさ向上プロジェクト

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業概要 教員による協議会、年間講師や外部指導員の学校訪問を通して、体を動かすことの楽しさを実感し、習慣化する仕掛けづくりの検討及び実践を各学校区・学校にて行ってきたが、平成31年度は幼稚園・小学校にて設定した2つの重点校区での研究を軸として、プロジェクトを進めていった。また、生涯に渡って自発的に体を動かすようになるためには、幼児期における取組が重要であることから、幼稚園での活動も多く行った。

#### 【事業内容】

- ・幼稚園の保護者に対し、幼児期に体を動かしておくことの大切さについての講演を実施
- ・体を動かすことの楽しさ・心地よさを授業において実践するための外部指導員を幼稚園・学校へ派遣
- ・家庭に対して啓発のためのチェックシート・リーフレットを配布 など



### ロープジャンプで体力アップ

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年11月～令和2年2月

事業概要 ロープジャンプ（大縄跳び）の取り組みを通じて、市内小学生がロープジャンプの楽しさや跳び方、練習方法などを学び、チームワークを育みながら運動能力の向上を図った。また、ロープジャンプ普及啓発のため、日野市スポーツ推進委員を講師として派遣し、本番の大会に向け練習を行った。

派遣指導の成果として、熱心な指導により跳躍回数が大幅に伸び、優勝を目指して毎日練習を積み重ねたことによりチームワークが育まれ、運動能力が向上した。

なお、ロープジャンプの練習の成果の場として令和2年2月22日（土）にロープジャンプ大会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、大会は中止となった。

## 東村山市

### 障害者スポーツ体験事業

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和2年1月11日

事業概要 2020年に開催される「東京2020パラリンピック競技大会」に向け、パラリンピックに対する気運醸成及び障害者への理解促進を図ることを目的とし、子供たちがパラスポーツにふれあい、楽しみながら体験することができるイベントとして開催した。

【イベント名称】パラスポーツ運動会

【開催日時】令和2年1月11日（土）13:30～17:00

【場所】東村山市民スポーツセンター第1体育室

【参加者】小学生4～6年生 88名 大人 16名 合計：104名

【ゲスト】永尾 嘉章 氏

（アテネパラリンピック陸上競技4×400mリレー 銅メダル）

【事業内容】

パラリンピック競技の用具等を使用した6種目を4チーム（子ども3チーム＋大人1チーム）で競い合う運動会形式で実施。

- ① シッティング玉入れ  
（車いすに乗った状態又は地面にお尻をつけた状態での玉入れ）
- ② 障害物競争  
（競技用車いすに乗車し、複数のコーンをジグザクに走行する競技）
- ③ パラリンピアンによる講演  
（パラリンピアン永尾嘉章氏による講演）
- ④ サイレントムカデ競争  
（5人1組で先頭以外話すことができないムカデ競争）
- ⑤ ブラインドドリブルリレー  
（2人1組で1人が目隠しをした状態でボール（鈴入り）をドリブルする競技）
- ⑥ ボッチャ  
（1辺7mの正方形の4方向から同時にボッチャボール投げ込み、真ん中の円の中に入れる競技）

【事業効果】

◎子どもたちが実際にパラリンピック競技の用具を使用し、体験することで、障害者に対する理解を促進することができた。

◎アンケートの結果より、参加者の90%以上が東京2020パラリンピック競技大会を観戦してみたいという回答があり、大会への気運醸成へとつながった。

【当日の様子】

● シッティング玉入れ



● 障害物競争（車いすスラローム）



● パラリンピアンによる講演



● O×クイズ



● サイレントムカデ競争



● ブラインドドリブルリレー



● ボッチャ



● 全体集合写真



## 国分寺市

### 祝 第36回国分寺まつり 史跡武蔵国分寺跡 秋のスポーツイベント

事業種別 障害者スポーツ，ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年11月4日（月）

事業概要 国分寺市最大のイベントである国分寺まつりの開催に合わせて，①フリースタイルフットボール&デュエルサッカー，②クライミング，③ターゲットバードゴルフ，④グラウンドゴルフ，⑤ゲートボール，⑥スラックライン，⑦体力測定，⑧ポッチャ，⑨少林寺拳法の9つのスポーツ体験ブースを実施し，各ブースを体験した方に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の啓発グッズ（クリアファイル・ピンバッジ・鉛筆）などを配布した。

また，国分寺まつり会場から人を誘致するためにキーワードさがしを実施し，国分寺まつり会場から真姿の池・お鷹の道湧水群や史跡の駅などを經由して，秋のスポーツイベント会場である史跡武蔵国分寺跡に訪れるように働きかけた。

【実施会場】史跡武蔵国分寺跡

【参加者数】約3,500人



フリースタイルフットボール



体力測定

国立市

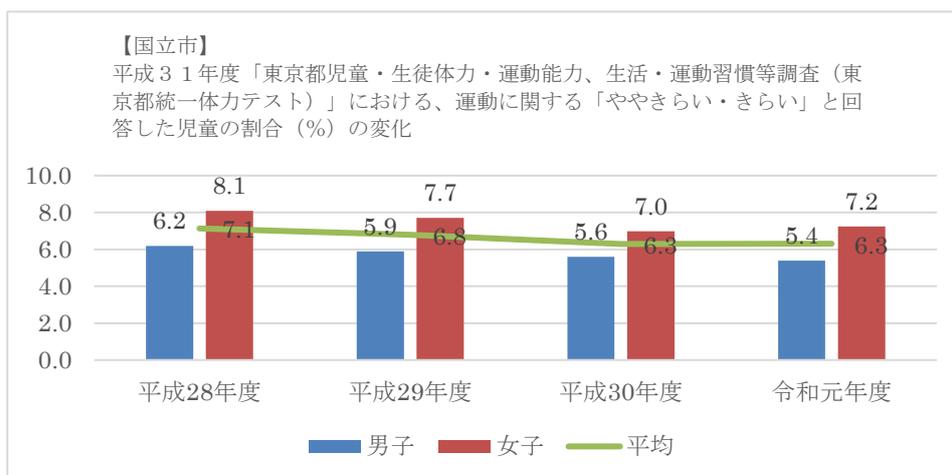
子どもの体力・運動能力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成31年4月9日～令和2年1月31日

事業概要 市内にある東京女子体育大学及び同短期大学の大学生を「運動の楽しさ伝え隊」として市内全8小学校に派遣し、体育の授業の中で、運動に対して苦手意識をもつ児童への支援を実施した。支援員は、体育を専門に学ぶ者として児童を惹きつける示範を行ったり、本事業により購入した苦手な児童でも抵抗なく取り組むことができる補助用具（「魔法の道具」）を用いたりして、児童の運動に対する意欲を引き出した。

令和元年度は、延べ25名の支援員が、計587時間の授業支援を行った。事業推進の結果、平成31年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査における質問紙調査において、本年を含む本事業を実施した過去4年間を見ると運動することが「あまり好きではない」「きらい」と回答する児童の割合が低下傾向にあることが分かる。そのことから、体育授業における児童への支援は、一定の効果があることが認められた。



## 狛江市

### スキルアップ水泳教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年8月5日（月）

事業概要 普段から水泳競技に励む生徒を対象として、一流選手等を招致したスポーツ教室を開催。参加生徒は、一流選手等の技術に触れるとともに、技術力向上に向けた指導を受け、競技力の強化を図った。

【参加人数】30名

【実施場所】狛江市民総合体育館 市民プール

【講師】リオデジャネイロオリンピック 200m 平泳ぎ金メダリスト  
金藤 理絵 氏



## 東大和市

### 東大和市子供の体力向上推進事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成31年4月～令和2年2月

事業概要 子どもの体力・運動能力を向上させるための特別授業を小学校、中学校において実施した。

#### 《走り方教室》

市内出身の元アスリート（走り幅跳び日本選手権優勝・100mハードル元日本記録保持者）を講師として迎え、小学校で「走り方教室」を実施した。より速く走るためには何が必要か、体の動かし方、正しいフォームを指導し、走る楽しさ、体を動かすことへの意欲・関心を高めた。

【実施期間】令和元年10月16日～令和2年1月31日

【実施校及び参加者数】東大和市立小学校 合計600人

（一小85人 二小292人 三小51人 六小59人 八小113人）



#### 《ダンス教室》

中学校でダンスインストラクターの指導による「ダンス教室」を実施した。基本的な動きから、全体を通しての体の動き・表現、回りの動きに合わせる等、ダンスを通して自己表現力、協調性やチームワークを身につけることができた。またダンスへの興味と技術を身につけた。

【実施期間】令和2年2月10日～令和2年2月17日

【実施校及び延べ参加者数】東大和市立第五中学校 166人（見学者含）



## 東大和元気ゆうゆう体操普及推進事業

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 平成31年4月1日～令和元年11月10日

事業概要 高齢化社会を背景に東大和市が市民とともに製作した「東大和元気ゆうゆう体操」等の普及をとおして、運動習慣の定着と介護予防・健康寿命の延伸に寄与することを目的として、東大和介護予防リーダー会主催の「東大和元気ゆうゆう体操の解説と実践講座」及び「東大和元気ゆうゆう体操フェスタ」を開催しました。

また、「うまかんべえ～祭り」や「東大和市福祉祭」等で東大和介護予防リーダー等による「東大和元気ゆうゆう体操」の紹介と実演を行い、来場者への普及を行いました。

### (1) 東大和元気ゆうゆう体操の解説と実践講座

日時：令和元年5月17日（金）

会場：東大和市立中央公民館ひがしホール

参加者：203人

#### ① 東大和元気ゆうゆう体操の効果や動作に関する講演会

講師：東京医療学院大学教授 小島 基永 氏

#### ② 東大和元気ゆうゆう体操の音楽についての解説

講師：安田 進 氏

### (2) 東大和元気ゆうゆう体操フェスタ

日時：令和元年10月17日（木）

会場：向原中央広場・向原中央公園

参加者：213人

#### ① 参加者全員による東大和元気ゆうゆう体操の実施

#### ② 体操会場で行われているニュースポーツ等の紹介

#### ③ 理学療法士によるミニ講座



◆体操の解説に関する講演会



◆東大和元気ゆうゆう体操フェスタ

## 清瀬市

### なでしこリーガーによる清瀬市サッカー教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和2年2月23日【新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止】

事業概要 清瀬内山運動公園サッカー場にて、子どもたちの基礎体力と競技力の向上や地域のスポーツ活動を推進するため、なでしこリーガーによる実技指導・親善試合を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

【予定されていた事業内容】

- 1 なでしこリーグに所属する「スフィーダ世田谷 FC」と「FC+文字VENTUS」の選手とコーチによる実技指導（事前参加申込人数 177名）
- 2 講師を務めた両チームによる親善試合の観戦
- 3 子育て中の保護者やジュニア選手を対象とする「怪我の予防」をテーマにした講習会の実施（事前参加申込人数 20名）

なお、参加者向け記念品として用意していたスポーツタオルについては、参加予定者に配布し、サッカーをする際に活用してもらうことで、今後の競技意欲の向上につなげる。

## 東久留米市

オリンピック種目をベースとした子どもの体力・運動能力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成31年4月1日～令和2年2月28日

事業概要 普段身体を動かすことの少ない子ども達を対象に、運動の楽しさを感じてもらい、以後自発的かつ継続的にスポーツを行うきっかけになることを目指しオリンピック種目・追加予定種目をベースとした9種目を実施した。

1. ボールスポーツ①（野球・ソフトボール）  
小学校1～3年生を対象に延べ147名が参加した
2. マット運動①（体操）  
小学校1～3年生を対象に延べ132名が参加した
3. ボールスポーツ②（バスケットボール・バレーボール）  
小学校1～3年生を対象に延べ136名が参加した
4. マット運動②（体操）  
小学校1～3年生を対象に延べ135名が参加した
5. ラケットスポーツ（ミニテニス・バドミントン）  
小学校1～3年生を対象に延べ147名が参加した
6. 跳躍スポーツ（陸上・なわとび）  
小学校1～3年生を対象に延べ146名が参加した

ボールスポーツ教室の様子



マット運動教室の様子



ラケットスポーツ教室の様子



跳躍スポーツ教室の様子



## 指導員によるフィットネスウォーキング事業

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 平成31年4月1日～令和2年2月28日

事業概要 指導員によるフィットネスウォーキング事業への参加を通じて、正しい歩き方、自分に合った歩き方を習得すると同時に、スポーツ習慣の定着を働きかけ、また、東久留米市スポーツ推進委員の協力を得て事業を実施することにより、地域全体で継続的にスポーツに参加する人を増やし、ウォーキングから幅広くスポーツに参加していく気運を醸成することを目的として下記のウォーキング事業を実施した。

### 第一回フィットネスウォーキング

(令和元年6月8日実施)

【参加人数】計25名

【コース】東久留米市スポーツセンターを出発し、黒目川と落合川沿いを周回するコース

### 第二回フィットネスウォーキング

(令和元年10月12日実施予定)

台風19号の接近に伴い、イベントが中止となった。



## 武蔵村山市

### 令和元年度少年少女スポーツ大会「第36回少年少女サッカー大会」

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 (1) 事前講習会：令和元年10月6日 (2) 大会：令和元年11月9日

事業概要 (1) 事前講習会

【事業内容】

児童にサッカーを好きになってもらうよう、サッカー大会前に武蔵村山市サッカー協会が基本的なルール説明や技術を指導した。

【事業参加人数】

68人

【事業実施場所】

① 武蔵村山市立小中一貫校村山学園 校庭 21人参加

② 武蔵村山市立第九小学校 校庭 47人参加

※ 令和元年10月12日にも武蔵村山市立第十小学校の校庭で開催を予定していたが、台風のため、やむを得ず中止とした。

(2) 大会

【事業内容】

武蔵村山市内の全小学校（4年生～6年生の男女が対象）からチームを選出し、対抗戦を行なった。

【事業参加人数】

306人

【事業実施場所】

武蔵村山市総合運動公園運動場 第1運動場及び第2運動場



令和元年度少年少女スポーツ大会「第17回少年少女ドッジボール大会」

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 (1) 事前講習会：令和元年12月に3回開催（14日、18日、21日）  
(2) 大会：令和2年1月25日、26日

事業概要 (1) 事前講習会

【事業内容】

児童にドッジボールを好きになってもらうよう、ドッジボール大会前に東京都ドッジボール協会が基本的なルール説明や技術を指導した。

【事業参加人数】

65人

【事業実施場所】

- ① 武蔵村山市立第九小学校 体育館  
令和元年12月14日開催 19人参加
- ② 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校 体育館  
令和元年12月18日開催 47人参加
- ③ 武蔵村山市立第三小学校 体育館  
令和元年12月21日開催 11人参加

(2) 大会

【事業内容】

武蔵村山市内の全小学校（3年生～6年生の男女が対象）からチームを選出し、対抗戦を行なった。

【事業参加人数】798人

- ① 3・4年生の部  
令和2年1月25日開催  
414人参加
- ② 5・6年生の部  
令和2年1月26日開催  
384人参加

【事業実施場所】

武蔵村山市総合体育館  
第一体育室



## 多摩市

### ヴェルレンジャー ～一緒にスポーツ楽しみ隊！～ in 多摩

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成31年4月6日（土）～令和2年1月18日（土）

事業概要 多摩市をホームタウンとする東京ヴェルディの協力のもと、東京ヴェルディの各競技チーム所属の選手やコーチによるスポーツ教室を実施した。  
選手からの直接の指導により、プロの選手のレベルの高い技術に子どもたちがより近くで触れることができたうえ、直接が実際に行っているウォーミングアップやトレーニング、事前準備やメンタルコントロール等、様々な学びを提供することができた。

#### 1. かけっこ教室

東京ヴェルディトライアスロンチーム所属の選手により、早く走るコツを学ぶ。

【対象・参加者数】小学1～5年生の児童、89人

【実施場所】一ノ宮公園球技場



#### 2. チアダンス教室

東京ヴェルディ・チアダンスチーム ヴィーナスの選手やコーチにより、チアダンスを学ぶ。

【対象・参加人数】小学1～6年生の児童、22人

【実施場所】多摩市立総合体育館 第一会議室



#### 3. バレーボール教室

東京ヴェルディバレーボールチーム所属の選手や監督等から直接バレーボールを学ぶ。

【対象・参加者数】 小学 1～6 年生の児童、30 人

【実施場所】 多摩市立総合体育館



#### 4. 親子サッカー教室

東京ヴェルディ・(サッカー) スクールコーチの指導により、スポーツを通じて親子のコミュニケーションを図りながら、サッカーの技術や保護者から子どもへの指導方法の習得を図る。

【対象・参加者数】 年中～小学 2 年生の児童とその保護者 13 組 26 人

【実施場所】 諏訪南公園球技場



#### 5. スポーツサイクル教室

東京ヴェルディトライアスロンチーム所属の全選手、監督の指導により、安全に、また快適にスポーツサイクルに乗る技術を学ぶ。

【対象・参加者数】 小学 1～6 年生の児童、13 人

【実施場所】 多摩ニュータウン環境組合 ストックヤード



#### 6. バasketボール教室

東京ヴェルディ女子バスケットボールチーム所属の選手、コーチの指導により、バスケットボールの基礎的な動きから実践的な動きまでを学ぶ。

【対象・参加者数】 小学 1～5 年生の児童、11 人

【実施場所】 多摩市立総合体育館



### 障がい者スポーツ出張体験教室

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年5月1日（水）～令和2年2月14日（金）

事業概要 障がい者スポーツを通じた障がい者の理解促進を図るため、現役障がい者アスリートや障がい者スポーツの指導員による、障がい者スポーツの体験事業を実施した。

授業はまず、障がい者理解の時間をとり、アイマスクや車いす、点字ブロック等を使用して、障がい者の気持ちや生活を体感してもらった。それから、障がい者スポーツとして実施希望の多いポッチャまたは5人制サッカー（ブラインドサッカー）のルールを聞きながら、指導者やアスリートのプレーを見学し、それから実際に障がい者スポーツを体験してもらった。

こうした流れを踏まえることで、障がいに対する理解が深まるとともに、障がい者アスリートの技術力の高さや障がい者スポーツの奥深さ・面白さを理解してもらうことができた。

また、体験終了後は参加者の感想を共有することで、さらなる理解を深めた。

【参加者数】 1,180 人

【実施場所】 市内小・中学校 10 校

【実施回数】 16 回



## 羽村市

### はじめようスポーツ！小・中学生「走り方教室」（初心者編）

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月～11月

事業概要 市内の小中学校長会と羽村市陸上競技クラブの協力を得て、普段、スポーツをしていない小中学生を対象に、陸上競技の指導者を招き「走り方教室」を実施した。小学校1・2年生（1部）と小学校3年生以上（2部）のクラスに分けて各3回の合計6回実施し、すべてのスポーツの基本となる「走り方」の正しいフォームなどの指導を行った。

5月の小学校運動会前に1回実施回数を追加しつつ、継続的な運動の実施について働きかけた。

【実施日】 5月18日（土） 1部 82人参加、2部 78人参加  
10月22日（火）祝日 1部 68人参加、2部 53人参加  
11月16日（土） 1部 50人参加、2部 42人参加  
1部200人、2部173人、合計373人

【場 所】 富士見公園グラウンド  
栄小学校体育館（10/22 雨天）



### スポーツをしよう！小・中学生「走り方教室」（競技力向上編）

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年10月～12月

事業概要 市内の小中学校長会と羽村市陸上競技クラブの協力を得て、普段、スポーツをしている小中学生を対象に、陸上競技の指導者を招き競技力の向上を目的とした「走り方教室」を実施した。早く走るための技術的な指導を中心に、4回実施した。対象者は、小学校5年生から中学生。

【実施日】 10月22日（火）祝日 24人参加  
11月16日（土） 4人参加  
12月15日（日） 49人参加

12月22日(日) 49人参加 合計126人

【場 所】富士見公園グラウンド  
栄小学校体育館(10/22 雨天)



スポーツをしよう！小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹)教室」(競技力向上編)

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年11月～12月

事業概要 スポーツを実践している小中学生を対象に、競技力の向上を目的にしたフィジカルトレーニング(体幹)教室をPTI認定プロフェッショナルフィジカルトレーナーの中野ジェームズ修一さんなどに依頼して実施した。体の軸を安定させてブレなくすることで、どのようなスポーツでも怪我をしにくく、競技力の向上につながることを学ぶことができた。小学生(1部)と中学生(2部)に分けて、合計4回実施した。

【実施日】11月24日(日)1部 64人参加、2部 56人参加

12月 1日(日)1部 43人参加、2部 60人参加

1部107人、2部116人、合計223人

【場 所】スポーツセンター



## はじめようスポーツ！障害者スポーツのススメ

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年 11 月～令和 2 年 1 月

事業概要 障害者団体や関係機関と連携をして、障害者スポーツのボッチャ教室を実施した。広報紙に記事を掲載し広く参加者の募集を図りながら、障害の有無に係わらず参加を呼びかけ、障害者スポーツの理解促進に努めた。

12 月には、「ボッチャ市町村大会」に出場する羽村市代表を選ぶ羽村市大会を障害者と健常者が一緒になって実施した。

また、小学校の特別支援学級でもパラリンピックを身近に感じてもらえるようにボッチャ体験を実施した。

【実施日】 11 月 17 日（日）23 人参加

＊11 月 19 日（火）88 人参加

12 月 8 日（日）86 人参加

☆1 月 18 日（土）15 人参加 合計 212 人

【場 所】 スポーツセンター、＊福祉センター、☆武蔵野小学校



## はじめようスポーツ！歩くことからはじめよう

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 令和元年8月～令和2年1月

事業概要 普段から体を動かすことの少ない方や、きちんとしたフォームを身に付けた  
い方を対象に、杏林大学理学療法学科の助教によるウォーキング教室を実施し  
た。運動をしないと筋力が低下しフレイル状態になる危険性や上半身の運動に  
も効果的なポールウォーキングを学び継続的な実施につながるよう教室を開  
催した。

第3回では、若々しく美しい姿勢で歩くことを目的に、デューク更家公認ウ  
ォーキングスタイリストを講師にお招きし実施した。

【実施日】8月31日（土） 25人参加  
9月23日（月）祝日 31人参加  
1月18日（土） 42人参加 合計98人  
【場 所】スポーツセンター



## あきる野市

### 小中学生バスケットボール教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年6月1日

事業概要 市内の小中学生を対象に、元全日本代表選手及び現役プロバスケットボール選手を講師に招き、高い技術指導を受け技術及び競技力の向上と次世代アスリートの育成を図った。

【講 師】元全日本代表 小宮 邦夫さん 半田 圭史さん  
山田 哲也さん  
現役プロ選手 五十嵐 圭さん

【実施場所】秋川体育館大体育室

【参加者数】101人（小学生13人・中学生88人）



## 障がい者スポーツ教室

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年5月～令和2年2月

事業概要 障がい者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進を目的に、障がい者スポーツの指導資格を持つ、総合型地域スポーツクラブと連携し、フライングディスクやマット運動など比較的軽い運動の体験教室、競技力向上を目的としたボッチャ教室、知的障がい者を対象とした軽運動の「わくわくパーク」を開催した。

### 【参加人数】

- ・障がい者スポーツ体験教室（全8回）…167人
- ・ボッチャ教室（全8回）…114人
- ・わくわくパーク（全8回）…138人

【実施場所】秋川体育館、あきる野学園（体育館・校庭）



## 西東京市

走って、投げて、蹴って、踊って♪

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年7月25日、8月19日～23日

事業概要 小学生低学年を対象に、「走る」「投げる」「蹴る」といったスポーツの基本となる様々な身体の使い方や調整力を指導し、「踊る」という音楽にあわせて身体を動かすことや表現することの楽しさを経験してもらうことで、運動習慣の定着、苦手意識の軽減につなげる。

各種目のトップアスリートや専門指導員から指導し、子どもの体力・運動能力向上及びスポーツ導入への興味の向上を目的に実施した。

1日目…事前測定、夏休み期間体力アッププログラムシート配布

2日目…「蹴って」ボール慣れ、蹴り方、ドリブル練習、ミニゲーム

3日目…「走って」姿勢の作り方、脚のあげ方、腕の振り方、スタート練習

4日目…「投げて」投球練習、捕球練習

5日目…「踊って」音楽にあわせて全身を動かす練習

6日目…効果測定、総評

【参加人数】1年生 13人（男子6人、女子7人）

2年生 18人（男子12人、女子6人）

3年生 29人（男子10人、女子19人）

合計 60人（男子28人、女子32人）

【会場】西東京市スポーツセンター



## 日の出町

### ニュースポーツ「キンボール・スポーツ輪投げ」を体験しよう

事業種別 障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業

実施期間 令和元年 11 月 29 日

事業概要 西多摩地域でニュースポーツ(キンボール・スポーツ輪投げ)を積極的に行っている各市町のスポーツ推進委員から日の出町スポーツ推進委員がルールや指導方法を学ぶ講習会を開くことで自発的に指導できるグループの育成を行った。

その後、日の出町内の公立小学校の小学生とその保護者を対象にニュースポーツ体験会を実施した。参加者は、はじめてニュースポーツを体験する方も多かったが、子ども、大人の体格に差があったとしても一緒に楽しむことができる体験を通して、あらためてスポーツの楽しさを実感することができた。

【実施場所】日の出町立大久野小学校 体育館

【参加人数】小学生 54 名 大人 36 名 計 90 名



◆スポーツ輪投げ投げ方説明



◆スポーツ輪投げチーム対抗戦



◆キンボールリレー



◆キンボールキャッチング

## 檜原村

### 檜原村スポーツ教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年5月5日、11月16日

事業概要 檜原村内の小・中学生を対象に日頃からクラブチーム等で行っているスポーツ競技の技術向上を目的に著名人等を招聘したスポーツ教室を開催した。令和元年度は、オリンピック開催の前年であり、両競技の注目が高いことからバドミントン教室及び陸上教室を開催した。両教室とも基本的な指導をはじめ、各競技における心構えや練習方法等の指導を受け、参加者は両競技に対する関心を更に高めることができるとともに、指導者にとっては、新たな指導方法を学ぶことができ、指導者の技術力向上も併せて図られた。

#### 【実施場所】

檜原小学校体育館（バドミントン教室）

檜原村総合グラウンド（陸上教室）

#### 【参加人数】

バドミントン教室 51人

陸上教室 35人

#### ◆バドミントン教室の様子（小椋久美子氏招聘）



#### ◆陸上教室の様子（エリックワイナイナ氏招聘）



## 利島村

### ジュニアサッカー育成事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年5月7日～令和2年1月14日

事業概要 サッカー（フットサル）の競技技術向上のため、指導者を招聘し、サッカー教室を年4回開催した。定期的で開催することで、子ども達の興味関心を喚起し、やる気を高めた。また、島しょ地区のジュニアフットサル大会に参加し、更なる競技力の向上並びに地域の活性化図った。さらに、保護者や地域住民にも参加してもらい、サッカーへの理解を深め、指導力の向上を図った。



## 新島村

### 新島村野球教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年 11 月 23 日、24 日【天候不良により中止】

事業概要 島外から元プロ野球選手 3 名（副島 孔太氏・宇佐美 康広氏・藤田 太陽氏）を指導者として招き、2 日間にわたって「野球教室」を開催する予定であったが、事業実施当日の天候不良により飛行機・船共に全便欠航となってしまう講師が来島することができず、今年度の「野球教室」は中止した。

### 新島村バレーボール教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年 11 月 23 日、24 日

事業概要 当初は島外から著名な指導者 2 名（三枝 大地氏・山口 孝司氏）を招聘し、バレーボール教室を実施する予定であったが、当日の天候不良により飛行機・船共に全便欠航となってしまう、著名指導者 2 名を招聘することができなかった。そのため、島内在住のジュニアバレー指導者 5 名で教室を実施した。

#### 【実施場所】

東京都立新島高等学校体育 P は PP 館（11 月 23 日）

新島村立新島中学校体育館（11 月 24 日）

#### 【参加者数】

43 名（11 月 23 日：20 名/11 月 24 日：23 名）



## 神津島村

### 神津島村野球教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年9月21日、22日

事業概要 技術及び経験・実績を持ち合わせたプロの指導者から、練習方法や求められる技術について指導を受け、神津島村の指導員の指導力の向上及び元プロ選手等とのふれ合いを通し、子どもたちが選手としての姿勢や技術を学ぶ機会を与え子供たちの野球の技術を向上させることを目的とする。

【対象者】スポーツ指導員として登録・登録を予定している者及び神津島村ジュニア野球チームに加入している小学生～中学生。

今回は保育園年長も対象とし門戸を広げた。

【講師】野球指導に長けた講師あるいは元プロ選手又は元日本代表選手等3名

【回数】1回(2日間)

【開催場所】金長運動公園・神津中学校校庭

【参加人数】30名(保育園児7名、小学生8名、中・高生5名、一般8名)



### 神津島村バレエ教室

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和元年5月12日～令和2年3月15日

事業概要 クラシックバレエの講師に来島していただき、生徒を3クラスに分けて少人数でレッスンを実施した。フォローアップとして島内のバレエ経験者講師によるレッスンも5回行った。後期には、4月の発表会に向けて、発表会参加希望者12名でのレッスンを数回実施した。

【講師】吉武英恵子 他1名

【対象者】園児（幼児）、小学生、中学生

【開催場所】都立神津高等学校剣道場、生きがい健康センターホール



### 神津島村サッカー教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年9～10月【天候不良により中止】

事業概要 技術及び経験・実績を持ち合わせたプロの指導者から、練習方法や求められる技術について指導を受け、神津島村の指導員の指導力の向上及び元プロ選手等とのふれ合いを通し、子どもたちが選手としての姿勢や技術を学ぶ機会を与え子供たちのサッカーの技術を向上させることを目的として開催予定であったが、台風の影響により中止となった。

## 御蔵島村

### 御蔵島村子どもスポーツ教室

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 令和2年2月15日（土）、16日（日）

事業概要 【実施内容】サッカー教室  
【参加者】50人  
【実施場所】御蔵島小中学校校庭及び体育館



御蔵島村立小中学校に在籍している児童及び生徒をメインターゲットとしたスポーツ教室を学校と共に3回開催。

競技種目については、サッカーとし、著名な指導者には元なでしこジャパン小林弥生氏、元Jリーグ大宮アルディージャ川邊隆弥氏を招致して、子どもの競技力、体力及び運動能力、競技力の向上には不可欠である「楽しむこと・あきらめない心」等についての指導を実施した。

また、本村は離島という特殊な地域事情であり、日本を代表する技術等に直接触れることが少ないため、地域の体育会との連携を図り、本事業の対象者を児童生徒以外の村民にも開放した。児童生徒だけでなく村民全体がトップアスリートとの交流の機会を持つことで、スポーツに励む意欲、希望、夢等を持ち、その結果として地域におけるスポーツがさらに進歩したと考える。

運動習慣の定着に資するためのスポーツ教室

事業種別 運動習慣の定着に資する事業

実施期間 令和2年2月15日（土）、16日（日）

事業概要 【実施内容】ラジオ体操  
【参加者】50人  
【実施場所】御蔵島小中学校校庭及び体育館



運動習慣の定着に資するためのスポーツ教室を実施。村民を対象とした、ラジオ体操を15日及び16日にラジオ体操教室を行い、計3回開催、サッカー協会が実施した。幅広い世代の村民の運動習慣の定着へとつながった。また、離島という特殊な地域環境にあり、多様な価値観、様々な職種の方々が直接運動に触れるいい機会となった。今回の事業をきっかけに、本村における運動習慣の定着について大きな一歩を踏み出せた。



## 八丈町

### 八丈島卓球連盟ジュニア育成合宿

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年6月8日、9日

事業概要 今回の合宿は4回目の育成事業で、青木講師に継続して指導を行っていただいた。成果目標である「個々の技術の向上」に関しては、昨年の合宿時から1年間経過した個々の技術状況（フォアハンド、バックハンド、ツツキ技術）の比較及び検証を行い、各個人にあったアドバイスをいただき、修正および更なる技術習得目標を与えていただいた。二つ目の成果目標の「実践（試合）に活かせる練習をする」では、合宿最終日に実際に試合を行い、個人別に勝つための足りない技術を指導していただいた。また、合宿効果により、地域、年齢、学年を超えたコミュニケーションづくりも行えた。今年度は低学年層も増えており、今後も継続することで選手の心技体の成長を向上できる事業にしていきたい。

【実施場所】三根公民館

【参加人数】小学生25人、中学生1人、高校生3人



### 八丈島サッカー協会サッカークリニック

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和2年2月9日

事業概要 昨年・一昨年と同じ講師元日本代表でS級ライセンスを取得している講師、全国を回ってクリニックを開催している講師、ドリブルに特化したサッカークリニックを開催している講師という実績のある3名で実施。今までに指導した内容を踏まえ、通常の八丈島の限られた選手では味わえない緊張感のあるクリニックが開催できた。

【実施場所】富士グラウンド

【参加人数】小学生90人 中学生25人 高校生8人



### 八丈島剣道会育成事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成31年4月20日、21日（講習会）

令和元年9月13日～15日（指導者講習会）

事業概要 島外の剣道指導者による講習の機会を設け、正しい剣道の基礎や一段階ステップアップした技術を身につける一助とすることを目的として、4月20日（土）、21日（日）都内から剣道指導者2人を招聘し、小学3年生以上を対象に、テキスト等も利用し木刀による剣道形の稽古と小・中学生を対象として、剣道の実技講習を実施した。講習会後は、その講習内容を各地域の普段の稽古に活かすとともに、7月22日の都内での大会に向けて、16日間強化練習を実施した。また、全日本剣道連盟「社会体育指導員剣道（初級）」及び財団法人日本体育協会「指導員剣道（専門科目）」養成講習会（9月13日から15日）に島内指導者を派遣し、指導者の技術力向上を図り、もって子どもの競技力の向上につながった。

【実施場所】八丈町立三根小学校体育館、都立八丈高校格技棟

【参加人数】小学生17人



## 八丈島柔道会選手育成事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和2年1月12日、13日

事業概要 東京女子体育大学より、佐藤愛子柔道部監督と東京女子体育大学体育学部柔道部主将高橋純菜さんを講師としてお招きして、柔道の現場（国際大会並びに国内大会）における試合展開の風潮やトレンドなどを交え、コーチ向けの子供達への指導のアイデアを頂き、柔道の奥深さ、一線級の選手の技能の高さと基本の大切さや取り組む姿勢、考え方を島内指導者や保護者と共に共有し、人口減の中でも柔道競技が島内に定着する事と競技スキルアップを目的とし、ご指導頂いた。

【実施場所】大賀郷公民館

【参加人数】小中学生 25 人 指導者 17 名



## 八丈島ジュニアバレーボール教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年11月30日、12月1日

事業概要 小学生低学年の部では、アンダー・オーバーの基本の形を教えていただき、そのあとは、1,2年生・3,4年生に分かれての練習。1,2年生は柔らかいボールを使ってさらに基本の形を重点的に、3,4年生はレシーブの足の出し方など、ポジション別にコートの中での動き方やカバーの入り方などを指導してもらった。選抜メンバーと中学生の部では、遠征に向けた実践的な練習を主に教えていただき、攻めるサーブやボールを繋ぐことを意識した練習をした。練習試合では、講師の方が実際に監督に入り本番に近い雰囲気、タイムの時の声掛けなど指導者としても学ぶ所が多かった。

【実施場所】三根小学校体育館 末吉屋内運動場

【参加人数】小学生 71 人 中学生 14 人 指導等 23 名



### 野球連盟野球教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和2年2月15日、16日

事業概要 中学生には実践的な指導を行っていただき、連携プレー、走塁など試合で役立つ力が身に付いた。小学校1～3年生対象では、ボールの投げ方捕り方についての基礎を教わり、小学校4～6年生を中心では守備力、打撃力の指導をいただいた。各自のフォームを細かくチェックして実際の見本を見せながらの指導であったので、各自の技能の向上につながった。

【実施場所】南原スポーツ公園野球場 三根小学校体育館

【参加人数】小学生30人 中学生15人



## 小笠原村

### バドミントン強化練習

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 令和元年6月27日（木）～6月30日（日）

事業概要 バドミントンに取り組んでいる児童・生徒及び地域指導者を対象にロンドンオリンピックバドミントン女子ダブルス銀メダリスト藤井瑞希氏及びアシスタントを招聘し、競技力・技術力向上及び地域指導者の指導力向上を図ることを目的に実施。

【対 象】小中高校生及び地域指導者、競技者

【実施場所】父島：小笠原村立小笠原小学校体育館

母島：小笠原村立母島小中学校体育館

【実施回数・参加人数】5回

父島：中学生2回（27日13人、28日13人）

母島：小学生1回（29日11人）、

中学生2回（28日3人、29日2人）





# 資料編

---



## 資料1 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金交付要綱

(総則)

第1条 この要綱は、東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）が多摩・島しょ地域の市町村（以下「市町村」という。）に対して、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金（以下「助成金」という。）を交付することに関して、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 助成金は、市町村が計画的に実施する、市民が日常的にスポーツに親しみ、取り組むことを習慣として定着させ、健康増進を図ることを推進する事業を支援することにより、多摩・島しょ地域の魅力を高めることを目的とする。

(事務の委任)

第3条 町村会は、本要綱に係る事務の執行については、市長会に委任する。

(助成対象者)

第4条 助成対象者は、市町村とする。

2 助成金の申請者は、市町村長（以下「申請者」という。）とする。

(助成期間)

第5条 本要綱における助成は、平成28年度から平成32年度までの間とする。

(助成対象事業)

第6条 助成対象事業は、市町村が実施する市民のスポーツ習慣の定着を推進し、健康増進を図るもので、前条に規定する助成期間内において新たに実施する事業及びレベルアップして実施する事業のうち、市長会会長（以下「会長」という。）が必要と認める事業とする。

2 助成対象事業は、別表1のとおり区分する。

(助成対象経費及び助成金の額)

第7条 助成対象経費、助成金の額及びその上限は、一市町村につき別表2のとおりとする。

(交付申請)

第8条 助成金の交付を受けようとする申請者は、次に掲げる書類を、毎年度、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

(1) 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金交付申請書（様式1）

(2) 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業計画書総括表（様式2）

(3) 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業計画書（様式3）

(4) その他会長が必要と認める書類

(交付決定及び通知)

第9条 会長は、前条の規定による交付申請があったときは、別に定める市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、助成金交付の可否を決定する。

2 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに申請者に対し、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金交付・不交付決定通知書（様式4）により通知する。

(助成事業の遂行)

第10条 前条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、第8条の規定により提出した事業計画(以下「事業計画」という。)に従い、事業を適正に遂行しなければならない。  
なお、事業計画の主要部分についての変更は、認めないものとする。

(助成事業の変更)

第11条 第9条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、通知された助成金交付決定総額の範囲内で主要部分以外の事業内容に変更(各事業において交付決定額の30%以内の額の変更を除く。)の必要が生じたときは、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金変更交付申請書(様式5)に多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業変更計画書総括表(様式6)、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業計画書(様式3)及びその他会長が必要と認める書類を添付し、会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定による変更交付申請があったときは、その内容を審査し、変更交付の可否を決定する。

3 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに変更交付申請者に対し、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金変更交付・不交付決定通知書(様式7)により通知する。

4 前項の規定により変更交付の決定を受けた申請者は、第1項の規定により提出した変更後の事業計画に従い、事業を適正に遂行しなければならない。

(申請の取下げ)

第12条 第9条第2項の規定による交付決定又は前条第3項の規定による変更交付決定を受けた申請者(以下「被交付決定者」という。)は、助成金の申請を取り下げるときは、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金取下申請書(様式8)を会長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 会長は、前項の規定による申請を受理したときは、速やかに被交付決定者に対し、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金取下承認通知書(様式9)により通知する。

(軽微な変更の届出)

第13条 第11条第1項の規定にかかわらず、被交付決定者は、事業名称の一部修正など、軽微な変更の必要が生じたときは、速やかに書面により会長に届け出なければならない。

(実績報告)

第14条 被交付決定者は、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金実績報告書(様式10)に多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業実績調書総括表(様式11)、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金事業実績調書(様式12)、領収書等助成対象経費の支出を証明する書類の写し及びその他会長が必要と認める書類を添付し、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

(助成金の額の確定)

第15条 会長は、前条の規定による報告を受けたときは、その内容の審査を行い、助成金の額を確定し、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金確定通知書(様式13)により被交付決定者に通知する。

(助成金の請求及び交付)

第16条 被交付決定者は、前条の規定により助成金の額が確定した後に、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金請求書(様式14)(以下「請求書」という。)を別に定める日までに会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により請求書が提出されたときは、速やかに助成金を交付する。

(助成金の管理執行)

第17条 助成金の交付を受けた被交付決定者は、当該市町村の事務に基づいて、適正に助成金を管理執行しなければならない。

(交付決定の取り消し)

第18条 会長は、被交付決定者が次の各号の一に該当した場合は、助成金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

(1) 虚偽その他不正な手段により助成金の交付決定を受けたとき

(2) 事業の実施に際して、法令に違反したとき

(3) 本要綱又は交付決定に付した条件に違反したとき

2 前項の規定は、交付すべき助成金の額の確定があった後においても適用する。

3 助成金の交付を受けた被交付決定者は、助成金の交付決定が取り消された場合は、当該取り消しに係る部分の助成金を速やかに会長に返還しなければならない。

(事務の所管)

第19条 この要綱に基づく事務は、市長会事務局企画政策室が所管する。

(事業への協力)

第20条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会は、市長会から事務の執行に際し、協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

(補則)

第21条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付について必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行し、平成33年3月31日限りにその効力を失う。但し、第18条の規定は、失効後においてもその効力を有する。

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

別表1（第6条第2項関係）

区 分		内 容
1	継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業	第6条第1項に規定する事業であって、継続的に実施することにより、子どもの体力・運動能力の向上に資するもので、家庭、地域、学校のうち、二者以上と連携して取り組む事業
2	子どもの競技力の向上に資する事業	第6条第1項に規定する事業であって、競技に取り組む子どもの競技力向上に資する事業又は指導者の技術力向上に資する事業
3	障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業	第6条第1項に規定する事業であって、障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資するもので、障害の有無に関わらず参加を促す事業
4	運動習慣の定着に資する事業	第6条第1項に規定する事業であって、次の種目のうちから一以上選択し、多世代が参加するもので、各市町村が統一して年2回以上実施する事業 (1) ウォーキング (2) ラジオ体操 (3) 市町村が独自に推奨する体操

別表2（第7条第1項関係）

区 分		助成対象経費	助成金の額	助成上限額
1	継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業	助成対象事業に要する経費（施設整備等に係る経費、備品購入に係る経費及び市町村の職員人件費を除く。）から、当該事業の実施に伴う収入額を控除して得た経費とする。ただし、区分1及び3について、会長が必要と認めた用具の購入費はこの限りではない。	助成対象経費の10/10	区分1から3までの合計で、年間150万円
2	子どもの競技力の向上に資する事業			
3	障害者スポーツ、ニュースポーツの振興及び理解促進に資する事業			
4	運動習慣の定着に資する事業			年間50万円

## 資料2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

(設置)

第1条 東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）は、市長会及び町村会が多摩・島しょ地域の魅力を高めるために実施する助成金の交付にあたり、その適否を審査させるため、市町村共同事業助成金審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

(事務の委任)

第2条 町村会は、本要綱に係る事務の執行について、市長会に委任する。

(所掌事務)

第3条 審査会は、市長会会長の求めに応じて対象事業の内容を審査し、助成金申請者に対し必要に応じて事業実施に係る助言を行うとともに、市長会会長に助成金交付の適否について報告する。

(組織)

第4条 審査会は、市長会会長を除く次に掲げる6名の委員をもって組織する。

- (1) 市長会の代表 1名
- (2) 町村会の代表 1名
- (3) 学識経験者 2名
- (4) 市長会事務局長
- (5) 町村会事務局長

2 委員は、市長会会長が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱の日から2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審査会の会長等)

第5条 審査会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選による。

3 副会長は、会長が指名する。

4 会長は審査会を代表し、会務を総括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、必要に応じて審査会を招集する。

2 審査会は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、適否同数のときは、会長の決すところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、審査会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(委員報酬等)

第7条 第4条第1項第3号に規定する委員については、東京都市長会附属協議会に対する補助金交付要綱（平成11年4月1日施行）第3条第3号の基準に準じて報酬等を支給する。

(庶務)

第8条 審査会の庶務は、市長会事務局企画政策室において処理する。

(事業への協力)

第9条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）は、市長会から事務の執行に際し協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、審査会に関し必要な事項は、市長会会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際に、調査会の市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱（平成22年4月1日施行）第3条第2項の規定により、委員に委嘱されている者については、第4条第2項の規定に係らず、委員に委嘱したものとみなす。この場合の委員の任期は、第4条第3項の規定に係らず、平成28年4月30日までとする。

附 則

この要綱は、平成28年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

資料3 市町村共同事業助成金審査会委員名簿

(敬称略)

選出区分	氏名	所属・役職	任期
東京都市長会 (要綱第4条第1項第1号)	あべ ひろゆき 阿部 裕行	多摩市長	平成30年5月1日～ 平成31年4月30日
	おざき やすお 尾崎 保夫	東大和市長	令和元年5月1日～ 令和2年4月30日
東京都町村会 (同項第2号)	さかもと よしじ 坂本 義次	檜原村長	平成30年5月1日～ 令和2年4月30日
学識経験者(2名) (同項第3号)	すみたに あきお 炭谷 晃男	大妻女子大学 社会情報学部教授	平成30年5月1日～ 令和2年4月30日
	やすい みき 保井 美樹	法政大学 現代福祉学部教授	平成30年5月1日～ 令和2年4月30日
東京都市長会事務局長 (同項第4号)	きしがみ たかし 岸上 隆	東京都市長会 事務局長	平成30年5月1日～ 令和元年5月31日
	こぐれ みのる 小暮 実	同上	令和元年6月1日～ 令和2年4月30日
東京都町村会事務局長 (同項第5号)	なぐら ひとし 名倉 衡	東京都町村会 事務局長	平成30年5月1日～ 令和2年4月30日



令和元年度 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業  
実施報告書

令和2年3月

発行 東京都市長会/東京都町村会  
編集印刷 東京都市長会

〒183-0052  
東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館内